

32 矢連緑地環境保全地域



1 地域指定

- (1) 指定地域 香取神社周辺一帯（茨城町）
- (2) 指 定 昭和60年3月30日（茨城県告示第543号）

2 保全計画の概要

(1) 指定理由

本地域は、香取神社を中心に、スギ、ヒノキの大木と、アカガシ、シラカシの自然植生からなる暖帶性常緑樹林を形成する森林である。

この常緑樹林には、県内の限られた地域に生息するキノボリトタテグモ、南方系のモンキアゲハ等、希少性を有する動物相が生息し自然環境が保たれている。

このような暖帶性常緑樹林及びそこに生息する希少性を有する動物相からなる良好な自然環境を保全する必要がある。

このため、本地域は茨城県自然環境保全条例第10条第1項第1号に規定する「樹林地が集落地周辺と一体となって良好な自然環境を形成している区域」に該当する。

(2) 自然環境の概要

ア 植 生

本地域は香取神社の境内を中心にその周辺の森林を含めた地域で、アカガシ、シラカシの自然植生と神社裏側のスギ・ヒノキ植林である。スギ・ヒノキ植林は樹高が高く25mに及ぶものがあ

り、その林床にさらに8m位のスギの植林されたものも生育している。

入口の鳥居から社までは二つの石段があり、その周辺はスギ、シラカシ、アカガシ、ヒノキ、ヒサカキ、ヤブツバキが生育し、シラカシ、アカガシは大木となっている。これらの景観は茨城県南部から中部にかけて見られる神社の社寺林らしい様相を呈している。林床にはベニシダ、ミヅシダ、ティカカズラなどの常緑植物が多く、スダジイ・ヤブコウジ群集の下草と大差はない。

イ 野生動物

林内にはジャノメチョウ科のチョウが多く、平地から低山地に極めて普通のヒメウラナミジャノメ、ジャノメチョウ、平地に多いサトキマダラヒカゲ、青森県南部が分布の北限であるヒカゲチョウなどが見られる。

境内はあまり広くなく、ところどころにたまたま落葉の下にヤスデ類、ゴミムシ類などの土壤動物が見られるが、スギ林が多いだけに種類は少ない。

クモ類では暗いところを好むウズグモ、世界共通種で、社のいたるところに不規則な網を張るオオヒメグモ、ヒサカキやヤブツバキに不規則網を張るヒメグモ、スギの樹皮下に住居をつくってひそむミヤグモやキハダエビグモ、ムナアカフクログモなどが生息している。

社の北側の民家周辺では、関東以西に多く見られるキチョウ、日本のほぼ全域に分布し、山地、平地共に普通の種であるコミスジ、イチモンジチョウ、岩手県を北限とし、寒冷地では稀にしか見られないアオスジアゲハ、クロアゲハ、温暖な地域に多く、分布の北限が茨城県と新潟県であるといわれているモンキアゲハなどが見られる。

バッタ科やキリギリス科などの直翅目類は、境内の東側の矢連部落へ続く道の周辺に多く、セスジツユムシ、ヒシバッタ、ショウリョウバッタ、オンブバッタなどの普通種が見られる。

トンボ類も普通種ばかりで、各地の池沼、水田に普通に見られるシオカラトンボ、オオシオカラトンボ、コフキトンボといったトンボ科のもののほか、夏から秋にかけては、ナツアカネ、アキアカネ、マユタテアカネなどのアカトンボ類が多い。

鳥類は、関東平野の台地に普通に見られるキジバト、ヒヨドリ、カケス、オナガ、シジュウカラ、メジロ、ウグイス、ヒバリ、ホオジロ、モズ、アオジ、ミソサザイ、ムクドリ、スズメ、ツバメなどが生息している。

(3) 区域

ア 区域の概要

本地域は、小幡城跡のある台地と対置する台地の南縁部に位置する茨城町小幡地内の香取神社を中心とする森林地域である。

イ 位置及び区域

東茨城郡茨城町大字小幡字矢連地内

別図のとおり

ウ 面積 2.00ヘクタール

エ 土地所有関係

単位：ヘクタール

| 国 有 地 | 公 有 地 | 民 有 地 | 合 計 |
|-------|-------|-------|------|
| 0 | 0 | 2.00 | 2.00 |

(面積は、台帳面積による。)

(4) 自然環境の保全に関する基本的な事項

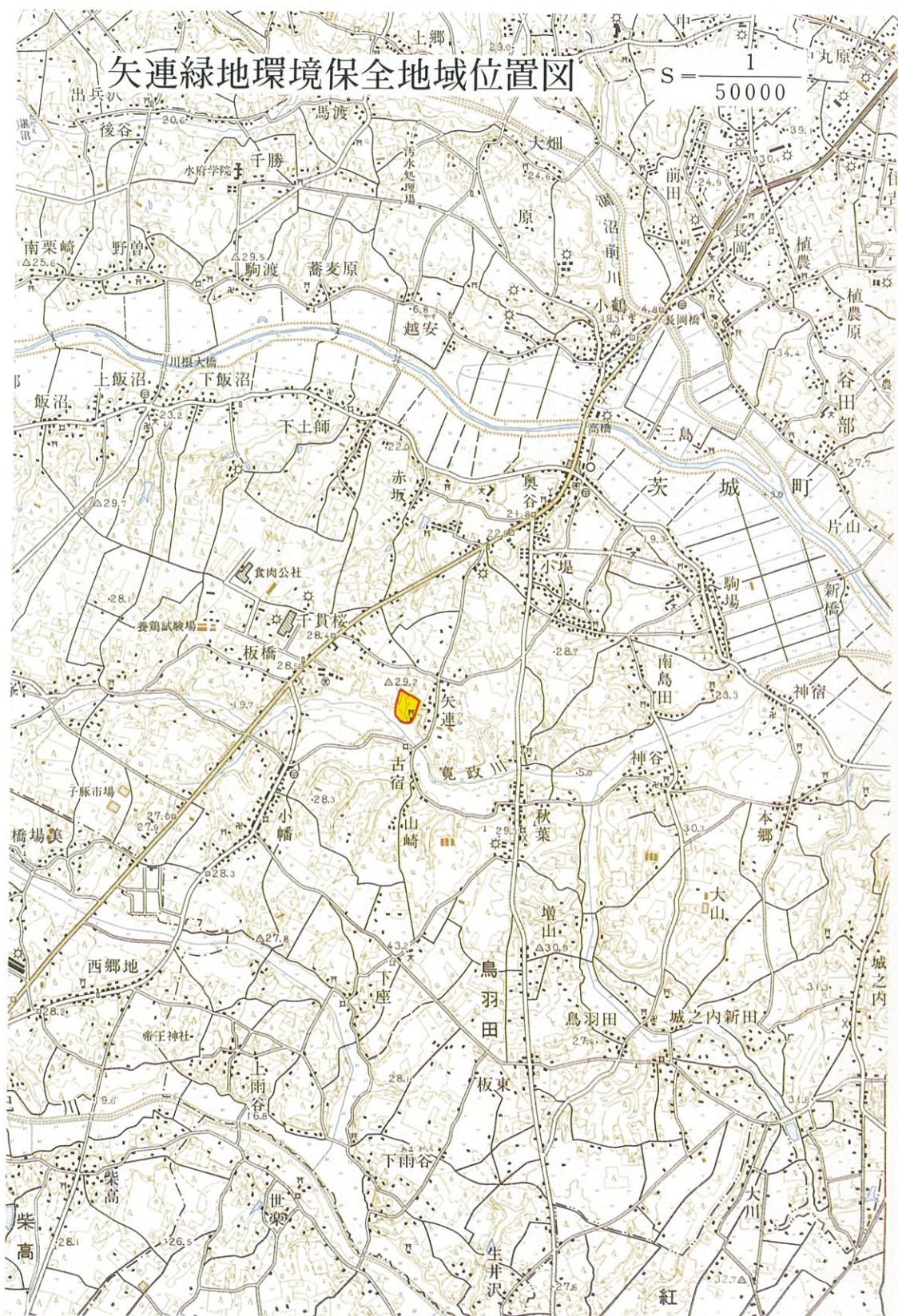
本地域は、香取神社を中心に、スギ、ヒノキの大木と、アカガシ、シラカシの自然植生からなる暖帶性常緑樹林を形成する森林である。

この常緑樹林には、県内の限られた地域に生息するキノボリトタテグモ、南方系のモンキアゲハ等、希少性を有する動物が生息する等、良好な自然環境を形成しており、これらの動植物を維持するため、自然環境の保全を図る。

このため、保全に必要な規制は、条例の定めにより行う。

(5) 保全施設に関する方針

良好な自然環境を保全するため、必要に応じて保全施設を設ける。



矢連緑地環境保全地域区域図

S = $\frac{1}{5000}$

区域線表示凡例

- (1) — (2) 道路界
- (2) — (3) 地番界
- (3) — (1) 道路界

